花鎮め

和田文雄　詩集

花鎮め

和田文雄　詩集

土曜美術社

詩集　花鎮め

著　者　和田　文雄
発行者　笛木　利忠
発行所　土曜美術社
東京都新宿区市ヶ谷薬王寺町八二―三〇五
〒一六二　電話　〇三（二三五）六七二六
振替　東京七・九九二九二
発行　一九八九年一月二十日
定価　二、〇〇〇円
ISBN 4-88625-182-X　C0092　¥2000E

詩集　花鎮め

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

花鎮め・目次

花鎮め

野分け　10
穂すすき　12
寮歌惜情　14
流浪の遍路　16
女郎蜘蛛　18
晩秋　20
木枯　22
木がらし　24
こがらし　26
師走の土　28

冬の夜　30
みそっちょ　32
かざはな　34
かたつむりねむる　36
小正月　38
節分　40
夜　42
花鎮め　44
ぬばたま　46
めはじき　48
野火　50
幣帛　52

谷慈郷

Ⅰ（ヤマタイコクが消えた……） 56
Ⅱ（新田の原のつちが……） 58
Ⅲ（三眠までつめで摘んだ……） 62
Ⅳ（半夏生に大蒜を刻んで……） 66
Ⅴ（ぬるでの葉にあかが……） 68
Ⅵ（振馬鍬にあたった石が……） 71

谷地川

Ⅰ（男はのどをわずらって……） 76
Ⅱ（谷地川のいちばん下流の……） 79

Ⅲ（谷地川の曲りかどは……） 81
Ⅳ（村社の祭りは九月……） 84
Ⅴ（尋常科の生徒たちが……） 86
Ⅵ（ヨソドメの実はすっぱかった……） 89
Ⅶ（前の山の段丘が……） 92
Ⅷ（八日にいちのたつ日に……） 94
Ⅸ（龍光寺の板碑は……） 96
Ⅹ（谷地川は右に曲り……） 98

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

花鎮め

野分け

野分けふけば　野分けのはてに
みし夢が

木枯し朔風にはんてんを
帆のようにして
走る子供たち

穂すすき

穂すすきたおれ道のあく
穂すすきたおれ空のみゆ

寮歌惜情

蕭々と野分け
ふく夜に
老いし友
野分け
吹きぬけて
白髪の
みだれ
肩をくむ

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com